

公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま

## 2022 年度(令和 4 年度) 事業報告書



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

2022 年度のみんつくは、設立から 11 期目（公益 9 期目）となり、『10 年間で振り返り、これからの 10 年を創造する。〇〇×みんつくの実施で地域の仕組みにインストールする。』を事業方針に、「要綱規定類の見直しとみんつく運営体制の強化」、「他機関との連携と日常化」「助成設計の仕組みづくりと届ける機能の強化（継続）」という 3 本の柱を掲げ、取り組みをすすめました。新型コロナウイルスの影響もあり、計画通りに事業を進められない部分もありましたが、昨年度に事務所を総社市に移転し、常勤スタッフ 1 名をむかえたこともあり、ネットワーク強化や職員研修等、今後の取り組みに向けた体制強化をはかりました。

2022 年度は、法人設立から 10 周年を迎え、これまで関わってくださった方々とのつながりの再構築や、地域の方々に団体のことを広く知っていただける機会づくりを行い、10 年後にコミュニティ財団が地域のインフラとして当たり前前に機能する社会を目指し、仕組みづくりをすすめた 1 年となりました。

2023 年度は、既存の仕組みや機関との連携を引き続き強化しながら、コミュニティ財団としての活動の幅を広げていくとともに、寄付者の方との交流や情報提供を積極的に行い、寄付の喜びを実感できる（寄付を身近に感じられる）社会の実現を目指して活動していきます。

### 2022 年度の主な取組（ニュース）

- 設立 10 周年記念事業
  - ・ 10 周年記念式典
  - ・ みんつくフォーラム
  - ・ 422 人マラソンリレー
  - ・ 寄付月間祭り（寄付月間特別賞「地域賞」受賞）
- 福武教育文化振興財団と、ハロー！ミュージアムプロジェクトの実施
- 子ども支援団体のネットワーク支援（井笠地域、総社地域）
- みんつく冠基金「FUN LIFE 基金」新設
- 18 歳成人をふまえ、学生理事 1 名（2022 年 7 月～）選任



## ■ 運営に関する事項

2022年度は、6月20日付で理事6名の再任ともに、近藤彩加理事（学生）を新任し、若者の声を反映しやすい体制整備をすすめました。

運営体制としては、有給理事(事業担当)1名、無給理事（総務担当※事務局長職兼務）1名、事務スタッフ3名（常勤1名、パート2名）に加えて、継続ボランティアのスタッフにより、組織運営を行いました。また、セミナー運営やイベント運営は、他の助成団体やNPOと連携して実施を行いました。

### ○評議員会（総評議員数5名）

開催日	出席	決議事項
R4. 6. 20 (FUNLIFECenterBuilding (以下、FLCB)) ※オンライン	評議員 5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度事業・決算・監査報告</li> <li>・2022年度事業計画</li> <li>・役員（理事）の選任について</li> </ul>

### ○理事会（総理事数6名→7名※、監事3名）

回数	開催日	出席	決議事項
1	R4. 5. 22 (みんつく事務所@奉還町) ※オンライン	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度事業・決算報告</li> <li>・理事候補の選任について</li> <li>・2022年度定期評議員会の開催について</li> <li>・助成財団センターへの入会について</li> </ul>
2	R4. 6. 20 (みんつく事務所@奉還町) ※オンライン	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事の選出について</li> </ul>
3	R4. 9. 18 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 7名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度冠基金・社会変革基金助成について</li> <li>・2023年度事業執行方針について(継続審議)</li> <li>・社会変革基金の口座開設について</li> </ul>
4	R4. 12. 4 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 7名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度冠基金・社会変革基金助成について</li> <li>・ろうきん寄付システムの助成について</li> <li>・2023年度事業計画について(継続審議)</li> </ul>
5	R5. 2. 26 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 7名 監事 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度事業計画について</li> <li>・2023年度執行体制について</li> <li>・社会変革基金・冠基金の審査について</li> <li>・福祉人財育成奨学金助成および にこにこえがお基金奨学金助成について</li> <li>・ろうきん寄付システムの審査について</li> <li>・FUNLIFE 基金の設置について</li> </ul>



## ■ 事業報告

### ○「割り勘で夢をかなえよう！」事業指定助成プログラム

～ 事業実施者と寄付者をつなぐ ～

2022年度は、コロナ対応として通年募集で相談を受け付けました。クラウドファンディングに関する相談や割り勘ワークブックセミナーの依頼は多くありましたが、他の民間クラウドファンディングサービスを紹介することで団体のニーズを満たすことが多く、みんつくの事業指定助成としての、応募団体はありませんでした。

2022年度は、制度設計を変更する予定でしたが、検討中で次年度制度変更に取り組む予定です。

#### **【次年度への課題】**

引き続き、今後の事業のあり方について検討し、制度の見直しを行います。また、団体支援の体制強化のため割り勘ワークブック指導者の養成も継続して実施します。

## ○「みんなの貯金箱をもとう！」

### 冠基金・社会変革基金事業

#### ～ 寄付者の思いに寄り添った制度設計 ～

2022年度は、冠基金5基金6テーマ、社会変革基金1基金1テーマについて募集し、うち5テーマにおいて4団体、2名の合計6事業の助成を行いました。

今年度も、「みんなの活動」助成団体連絡会との連携などにより効果的に情報を届けることができました。

障がい(高齢者)をテーマとした「山本基金」は、設置以来一度も助成実績がありませんでしたが、基金設置者の意向のヒアリングを行いながら助成内容の見直しを行い、広報活動を続けた結果、「みんなの活動」助成団体連絡会を通じた紹介によって、初助成につなげることができました。

総社で多世代の人に今を楽しんで(生きて)もらうことを目的に、まちづくり活動を応援しようと「FUNLIFE基金」の申込があり、新基金として設置されました。FLCBを活用してもらうことも含めて、団体の成長を応援できるよう、2023年度より四半期毎の公募を実施予定です。

社会変革基金については、「みんなつく子ども基金」が一定額の寄付が集まったため、公募を実施し、1事業の助成を行いました。応募団体や関係者へのヒアリング結果等を踏まえ、活動のはじめの一步を応援できるよう、必要なタイミングで活用してもらいやすい基金とするため、2023年度からは四半期毎に公募予定です。

一方、社会変革基金「地域助け合い基金」については大きな寄付の増加がなかったため、助成実施はできませんでした。また、2020年度に設置した「みんなつく災害支援基金」は、今年度は対象となる災害対応がなかったため、引き続き災害に備えて寄付の募集を行います。

また、2018年度に新設した平成30年度西日本豪雨災害の支援基金「ももたろう基金」については、昨年度で助成事業募集(最終:第14次募集)は終了となりました(寄付募集は2020年度に終了)。新型コロナウイルスの影響等で2事業が延期(未実施または実施中)となっています。2023年度には「ももたろう基金」の取り組みや助成事業をとりまとめた最終報告書を作成予定です。

その他、事務局をつとめる「ろうきんNPO寄付システム」は6団体への分配を実施しました。

## 【次年度への課題】

社会変革基金の4テーマ（地域助け合い・みんなつく子ども・にいま復興・みんなつく災害支援基金）については、寄付募集体制を強化し、日ごろから知ってもらいやすい仕組みづくりを進めていきます。

福祉人財育成基金は、2事業からの応募がありましたが、いずれも基金設置者との意向に合致しない等の理由により不採択となっています。いずれの事業も、事業内容はとても有意義なものであり、事業の発展のための支援を行っていきます。

また、「みんなつく子ども基金」と「FUNLIFE 基金」は四半期毎の公募を行いながら、ニーズに応じた基金運営と運営体制の整備を行っていきます。



## 【助成実施した基金】

テーマ	設置者	基金名	助成団体名	助成金額
まち・むら	匿名希望	くらし“き”になる基金	そーる (減災推進委員まび子)	50,000
障がい (老年期)	山本 晶一	山本基金	一般社団法人ピアサポート 仲よし準備委員会	500,000
被災地支援	萩原工業株式会社	BRIDGE SETOUCHI 基金	NPO 法人 こもれび room	50,000
障がい (福祉)	匿名希望	福祉人財育成基金 奨学金助成	継続助成 2名	1,100,000
子ども・若者支援	みんなつく (社会変革基金)	みんなつく 子ども基金	仲間がいる不登校の親の会 ふわさぼ倉敷	80,000

## 【その他の助成事業】

テーマ	内容	助成団体数	助成総額
NPO 分野	ろうきん NPO 寄付システム	6 団体	300,000

## ○災害支援基金 「ももたろう基金」 助成実績

昨年度実施した第14次募集で、ももたろう基金の助成募集は終了しました(寄付募集は2020年度に終了済)。今後は、新型コロナウイルスの影響等で延期(未実施または実施中)となっている助成事業の伴奏支援を継続して行うとともに、活動報告とノウハウ移転を目的とした、報告書作成やフォーラム開催を行いたいと考えています。

また、今後の災害支援関係は、みんなつく災害支援基金を活用するとともに緊急時対応としてOB・OGのネットワーク組織の構築等につとめていきます。

### 【ももたろう基金のスキーム】



### 事業の様子



第14次助成 ぶどうの家わたぼうし

## ○「みんなとやればできるはず！」地域円卓会議

2022年度は、地域円卓会議の開催はありませんでしたが、昨年度に引き続き、助成団体との交流や意見交換を行う機会を設けるとともに、民間助成団体で連携しコロナ対応について検討したり、他エリアのコミュニティ財団と支援について検討したりするなど、知恵や知識を交流する機会をもうけました。

## ○情報発信

2022年度は、新型コロナウイルスの影響も残る中、脱外出自粛の動きも出始め、多くの行事がオンラインまたは、現地+オンラインのハイブリッド開催になりました。情報発信も、参加者や開催内容等、対象に応じて、オンラインと現地開催を併用しながら実施しました。

特に、助成事業の情報発信については、「みんなの活動」助成団体連絡会で連携し、全5回にわたる合同説明会や他団体の事業内での情報発信など、自団体のみならず県内の助成団体での発信力を強化していきました。その結果、これまで一度も助成が実施できていなかった「山本基金」について、基金設置者のご意向と合致する活動団体への助成につなげることができました。

また、依頼に応じて講師派遣を実施しました。

## ○ノウハウ移転事業

2022年度は、市民活動に関する包括協定をむすんでいる瀬戸内市の支援を行うとともに、他の公益法人への支援を中心に行いました。DV被害者の自立支援を行うサンフラワー基金の運営支援や全国各地のコミュニティ財団の運営や災害支援基金の助言を行いました。その他、百間川水と緑基金などの審査員を理事がつとめました。

(主なノウハウ移転事業一覧)

相手先	内容
瀬戸内市	「協働のまちづくり推進事業」 ・ 市民団体支援、モデル事業支援 ・ 補助金運営支援 ・ 職員研修
公益財団法人 サンフラワー基金	・ 公益法人運営について ・ 助成事業の設計について
コミュニティ財団関係	・ 事業相談（割り勘ワークブック） [フードバング飛騨高山] ・ 視察受け入れ（団体設立経緯・運営方針・活動等の紹介、事業運営アドバイス） [認定NPO法人 NPO 高知市民会議]

コミュニティ財団関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察受け入れ (団体設立経緯・運営方針・活動等の紹介) [一般財団法人ちくご川コミュニティ財団]</li> </ul>
認定 NPO 法人 ハーモニーネット未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内ネットワーク構築支援</li> <li>・中四国フードバンク活動ネットワーク構築支援</li> </ul>
公益財団法人 福武教育文化振興財団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハロー！ミュージアムプロジェクト 仕組み構築支援</li> </ul>



## ○セミナー

+1 セミナーは、2022 年度は、新型コロナウイルスの蔓延状況や参加者数等を考慮し、現地またはオンラインを併用して開催しました。

(+1 セミナー) 開催：計画年 4 回程度 実施 7 回

月	内容	開催場所
4 月	割り勘ワークブック研修	オンライン開催
5 月	医食連携プロジェクト	FLCB 1 階
8 月	お金と寄付、事業計画の教室	FLCB 1 階
12 月	ソーシャルライター講座	FLCB 2 階+オンライン
12 月	資金調達の種類・助成金申請書の書き方講座	FLCB 1 階+オンライン
1 月	資金調達の種類・助成金申請書の書き方講座	FLCB 1 階+オンライン
3 月	岡山県社会福祉士会 講演会	きらめきプラザ+オンライン

## ○Share 会議

2022年度のShare会議は、FLCBでの開催を中心に、参加者の希望に応じてオンラインとのハイブリッド形式で開催しました。昨年度はオンライン開催が基本でしたが、対面で話をする事で、参加者のみなさんともより活発に意見交換ができるようになったと感じています。

今後も、参加者や企画内容に応じて開催方法を工夫し、多くの人が利用しやすい機会提供を行っていきます

(Share 会議) 開催：計画年4回程度 実施6回

月	内容	発表者	場所
7月	こども食堂や企画運営についての 意見交換&交流会	そうじゃ食堂くうねるあそ ぶ 森川 哲也 氏	FLCB1階
8月	真備地区民復興イベント企画検討会	松王夏樹 氏	FLCB1階
11月	被災者生活再建カードで学んで 南海トラフ地震に備えよう	みんつく(大山監事)	FLCB1階
1月	「岡山きょうだい会」の活動紹介 &助成金説明会	岡山きょうだい会 増田 美佳 氏	FLCB1階 +オンライン
2月	若者支援に関する講演会	認定NPO 法人D×P 今井 紀明 氏	FLCB1階 +オンライン
3月	BRIDGE SETOUCHI 基金 報告&交流会	萩原工業株式会社 ・助成先団体	FLCB1階 +オンライン

## ○調査・研究会等

岡山県から受託した地域力向上支援事業をきっかけに生まれた「みんなの活動」助成団体連絡会は、今年度は対面で実施できました。新型コロナの感染症法上の位置づけが2023年5月から5類に引き下げられることも決定し、社会情勢が大きく変わることが想定される中、今後どのように取り組んでいくか、連携して課題解決や価値創造を行うためにどうしていくかなど話し合いました。そのほか、コミュニティ財団の運営について情報収集などを目的に、全国コミュニティ財団協会の意見交換会や、今年度からはじまった市民ファンド・コミュニティ財団関係者による勉強会（市民ファンド/コミュニティ財団の集い）等に参加しました。



(研究会等への参加)

【「みんな活」助成団体連絡会】

月	研修会・会議名	内容
7月	コアメンバー会議	2022年度の活動について意見交換
9月	コアメンバー会議(連絡会)	情報交換
9月	「みんな活」助成団体合同説明会	合同説明会の実施@きらめきプラザ(ゆうあいセンター主催)
10月	「みんな活」助成団体合同説明会	合同説明会の実施@オンライン(ゆうあいセンター主催)
10月	and F 教室	講演会(石田専務理事)、合同説明会の実施 @オンライン(福武教育文化振興財団主催)
11月	「みんな活」助成団体合同説明会	合同説明会の実施@久世エスパス(岡山県文化連盟主催)
11月	「みんな活」助成団体合同説明会	合同説明会の実施@オンライン(岡山県文化連盟主催)
1月	コアメンバー会議	情報交換と次年度の確認

【コミュニティ財団の運営について】

月	研修会・会議名	内容
4月	全国コミュニティ財団協会 意見交換会	コミュニティを軸とした取組み・考え共有、2022年度の事業計画、意見交換、会員制度の改定について
9月	市民ファンド/コミュニティ財団の 集い(勉強会)	役員・評議員の組成、選考委員の選定、 人財発掘に向けたつながりのづくり方
11月	市民ファンド/コミュニティ財団の 集い(勉強会)	役員・評議員の組成、選考委員の選定、 人財発掘に向けたつながりのづくり方
1月	市民ファンド/コミュニティ財団の 集い(勉強会)	監事の選定、 助成事業における間接経費と事業費の割合と考え方
3月	市民ファンド/コミュニティ財団の 集い(勉強会)	利益相反対策

## ○そ の 他 (寄付文化創造)

毎月29日の「ツクる日」は、FLCBを活用して地域との交流のきっかけづくりを行いました。特にチャリティーイベントとその関連企画の開催によって、総社周辺の地域の方々に寄付を身近に感じていただく機会提供を行いました。

(ツクる日) 開催：29日頃、実施9回

月	内容	開催場所
4月	HANDMADE MARKET [共催:認定NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ]	FLCB 1階
7月	瓦まるしえ出店	倉敷市玉島 勇崎
8月	422人マラソンリレー	総社市北公園陸上競技場
9月	みんつく10周年記念式典	FLCB 1階
11月	寄付月間祭り事前準備&チャリティーバザー商品募集	FLCB 1階
12月	寄付月間祭り2022	FLCB 1階
12月	サロン de みんつく	FLCB 1階
1月	寄付月間祭り2022 振り返り会	FLCB 1階
3月	みんつくフォーラム2023	citta(AQUA テラス幸町)

### 【422人マラソンリレー】 \ スポーツ×チャリティー /

1人100m幅広い世代、延べ422人でバトンをつなぎ42.195kmマラソンの世界記録を目指すチャリティーイベントです。今年は香川県の団体と同日程で開催し、共に記録を目指しました。

リレー中には、NPO団体の活動紹介展示や寄付について考える企画等を実施し、地域団体の周知や寄付の呼びかけと発信を行いました。

また、日本テレビ系列24時間テレビの応援企画として、番組内で紹介されました。

- ・日時： 2022年8月28日(日) 10:00～(香川県の団体と同時スタート)
- ・場所： 総社市北公園陸上競技場(〒719-1115 岡山県総社市福井1200)





### 【寄付月間祭り】 \ お祭り×チャリティー /

“まちの文化祭”として、縁日やNPO紹介・出店、チャリティーバザー、県大生の作品展示・販売などのチャリティーイベントを開催しました。

イベント会場で使うお金は全て、地域のNPO団体等への寄付につながる仕組みとし、参加者自身に寄付先を選んでもらう仕組みとしました。

『欲しい未来へ、寄付を贈ろう。』を合言葉に、毎年12月に開催される全国的な寄付啓発キャンペーン「寄付月間」に合わせて開催しました。

・日時： 2022年12月11日(日) 10:00～17:00

・場所： FLCB（総社市中央2丁目2-8）

★全国各地で開催された「寄付月間賛同企画」の中から、企画特別賞『地域賞』を受賞しました！





4月 HANDMADE MARKET



7月 瓦まるしえ出店



8月 422人マラソンリレー



9月 みんなつく10周年記念式典



12月 寄付月間まつり



3月 みんなつくフォーラム2023

2022年度も  
ありがとうございました！  
次の10年もよろしくお願いします！

